

## 【実習① 雑誌の電子化実習】

### 作業手順

1. 書誌情報の作成・電子化整理番号の付与 .....	2
2. 背の裁断 .....	2
3. 書誌情報の確認 .....	3
4. スキャン .....	4
5. カラーページ等の再読み込み .....	7
6. 頁削除 .....	9
7. マスク処理 .....	10
8. 頁割付 .....	11
9. 目次入力 .....	13
10. 本構成処理 .....	16
11. WEB 上での確認 .....	17
12. 電子化終了 .....	18

※ **橙色の網掛けで口で囲まれている言葉**はクリックするボタン、アイコンやタブを表します。

## 1. 書誌情報の作成・電子化整理番号の付与

※本実習ではこの処理は行いません

電子化される雑誌は、雑誌受入の担当者によって書誌・所蔵の作成及び電子化整理番号の付与がなされてから電子化担当者に渡されます。

雑誌の表紙に貼られているシールに記載されている7桁の数字がその雑誌の電子化整理番号になります。

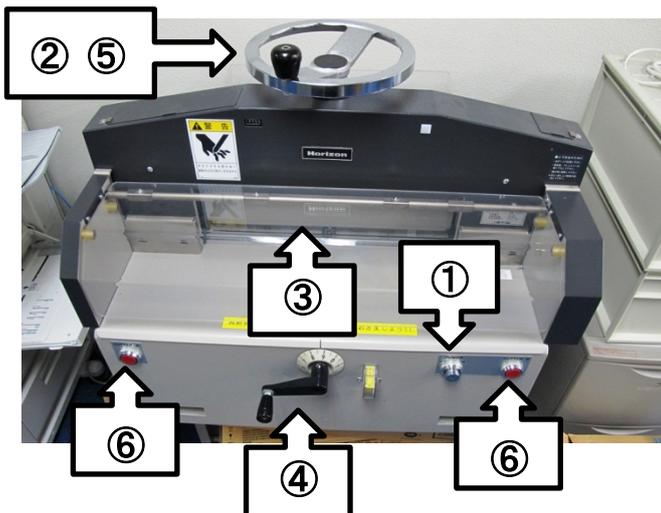


## 2. 背の裁断

雑誌の背の部分を裁断機で裁断します。

裁断幅が大きすぎると雑誌の本文部分までカットされてしまいますし、逆に裁断幅が小さすぎると、背部分の糊が残ってしまうことがあります。そのため、裁断前はどのあたりまでなら裁断しても大丈夫か、裁断後はページがきちんと離れているかを確認して下さい。

裁断できない書籍の場合には、裁断せずにコピーして、そのコピーをスキャンします。



裁断機の操作方法

- ① 鍵を差し込む
- ② ハンドル(上)を回して抑え部分を上に上げる
- ③ 裁断する冊子を差し込む
- ④ ハンドル(下)を回して裁断箇所を調整する
- ⑤ ハンドル(上)を回して冊子を抑え、透明カバーをかける
- ⑥ 左右の赤ボタンを同時に押すと背が裁断される

### 3. 書誌情報の確認

1. デスクトップ上にある「一次情報入力システム」アイコンをダブルクリックして起動します。  
これは本学で冊子の電子化業務で使っているもので、冊子の電子化だけでなく、学位論文電子化でも使用されます。



2. メインメニューで「入力作業」をクリックします。



3. 電子化を行う冊子の電子化整理番号を入力し、「決定」をクリックします。  
赤枠内に表示される書誌情報と冊子とが一致しているか確認して下さい。



## 4. スキャン

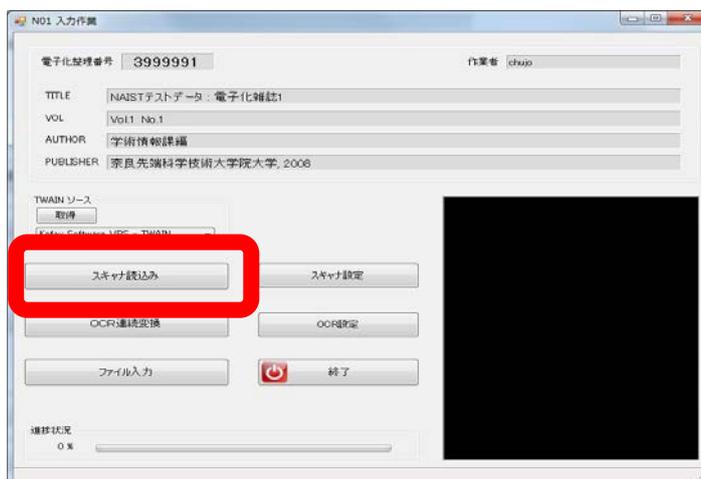
1. 冊子の表紙を下にしてスキャナに設置します。  
ガイドの幅が広すぎたり狭すぎたりする場合は  
再度ガイドボタンを押して調整してください。



2. 入力作業メニュー画面の**入力作業**をクリックします。



3. 入力作業画面が開きますので、**スキャナ読み込み**をクリックします。



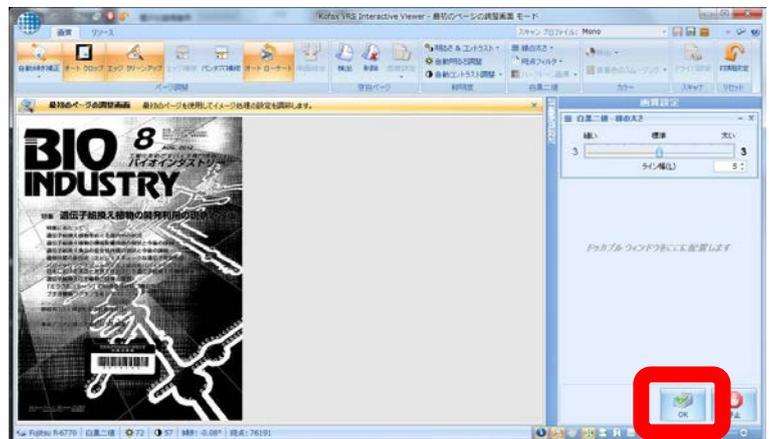
4. スキャナ設定ウィンドウが開きます。

以下のように設定してあることとプレビューにチェックが入っていることを確認し、**スキャン**をクリックしてください

ソース	ADF (オートドキュメントフィーダ)
解像度 (DPI)	400
色のモード	白黒
向き	縦
用紙サイズ	スキャナの最大サイズ
片面/両面	両面



5. 1 枚目の原稿のプレビュー画面が表示されますので、問題がなければ**OK**をクリックしてください。残りの原稿の読み込みを開始します。



基本的に読み込みの際はまず全頁を**モノクロ**で読み込み、カラーページ等は後から再度読み込みます。

また、読み込みと同時にイメージから OCR 変換が行われてテキストデータが作成され、頁単位の透明テキスト付き PDF が生成されます。

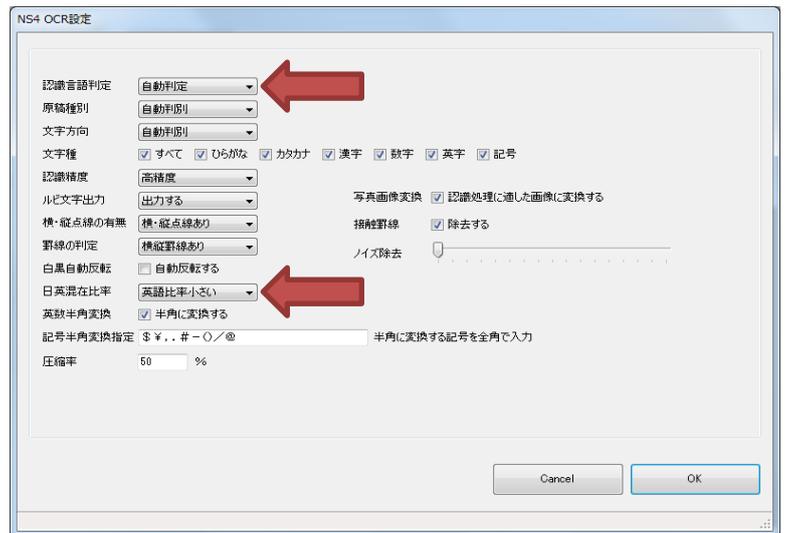
6. すべての読み込みが終わったら**終了**をクリックします。



### <参考>OCR 設定ウインドウ

スキャンする前に **OCR 設定** をクリックすると OCR の設定をすることもできます。

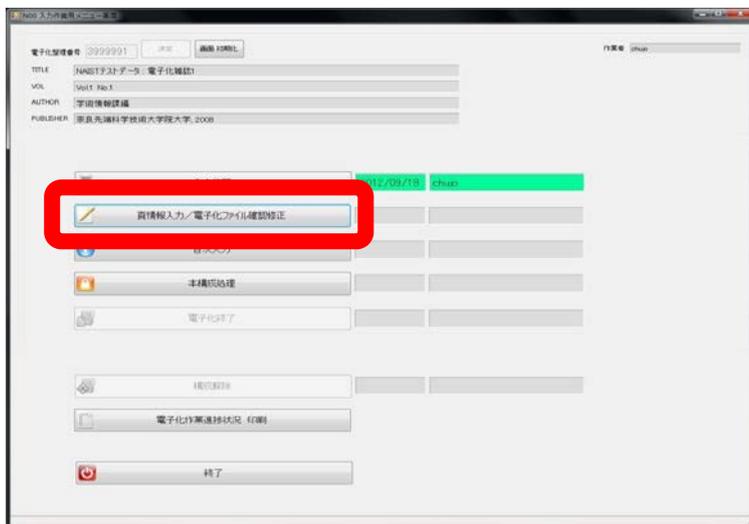
洋雑誌の場合には認識言語判定を”英語”に、また、日英混在比率を”英語比率高い”に設定します。



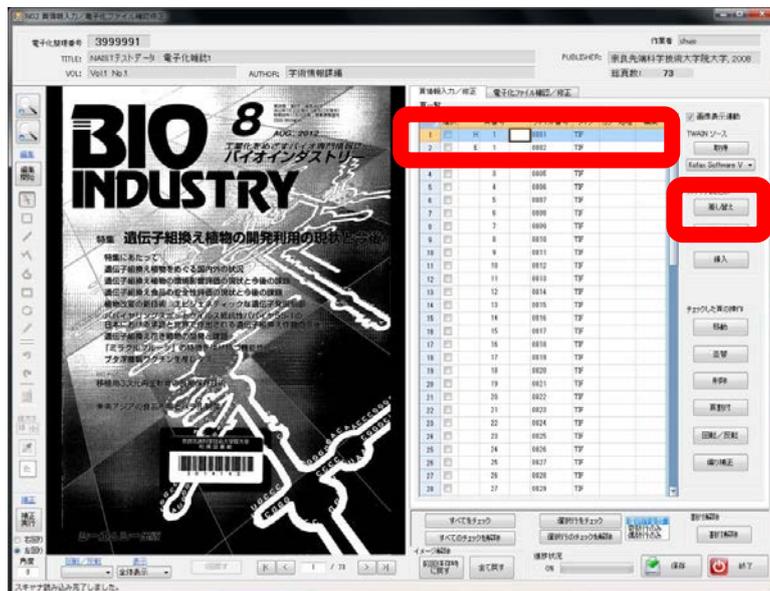
## 5. カラーページ等の再読み込み

表紙やカラー写真が掲載されているページなど一部でもカラーのページはカラーで、白黒写真や図表等の濃淡のあるページはグレースケールで再読み込みを行います。

1. **頁情報入力／電子化ファイル確認修正**をクリックします。

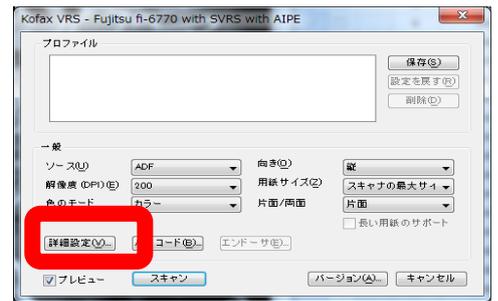


2. 一覧よりカラー再読み込みしたいページを選択して左側のプレビューにページを表示させ、**差し替え**をクリックします。

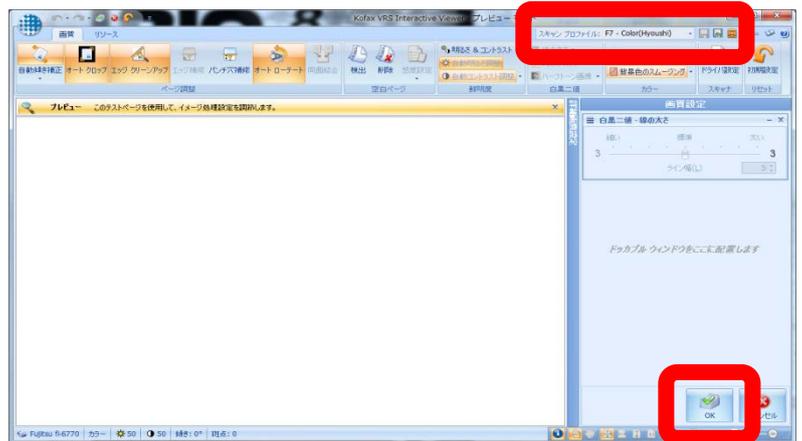


3. スキャナ設定ウィンドウが表示されるので、設定を次のように変更します。

解像度(DPI)      200  
 色のモード        カラー  
 片面/両面        片面



4. **詳細設定** をクリックし、スキャンプロファイルを Color に変更して **OK** をクリックします。



5. 差し替えるために読み込むページを下にしてスキャナにセットし、**スキャン** をクリックします。

最初の読み込みと同様、プレビュー画面で読み込んだ原稿を確認して問題がなければ OK をクリックしてください。

すべての差し替えが完了したら **保存** をクリックし、再読み込み作業を完了します。

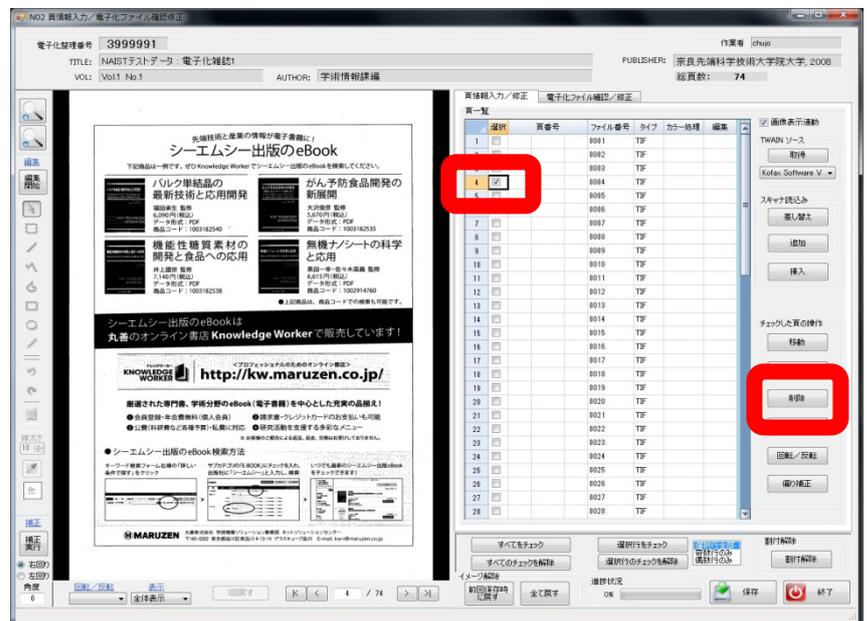


## 6. 頁削除

読み込んだページの中に公開に適さないものがある場合、該当ページを削除する必要があります。  
削除の対象となるページは以下のとおりです。

- ・ 頁数が付与されていない白紙のページ
- ・ ページ全面に出版社以外の著作物(広告等)が掲載されている場合  
※学会のお知らせや出版元の広告は削除しない

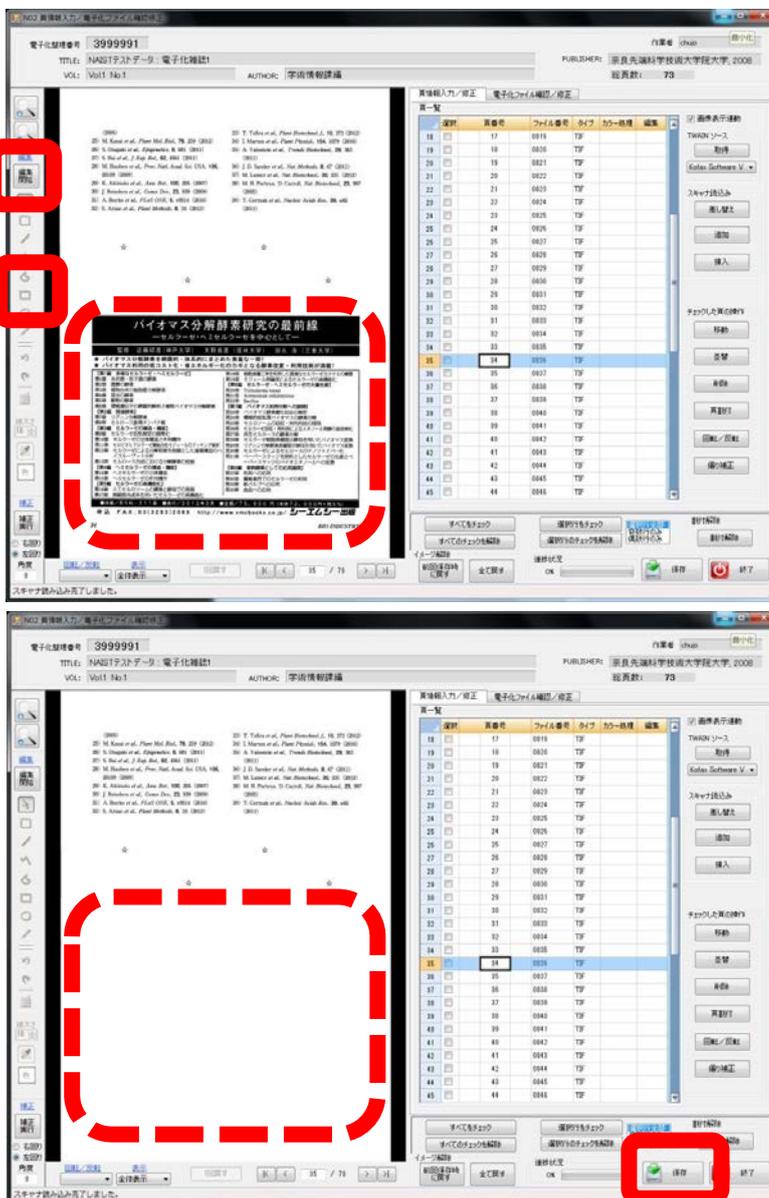
1. 頁一覧から削除の対象となるページを選択し選択ボックスにチェックを入れ、左側のプレビュー領域にページイメージを表示してから**削除**をクリックします。



## 7. マスク処理

削除対象がページ全体でない場合は頁削除ができないため、マスク処理を行う必要があります。

1. 画面右の頁一覧から、マスク処理をしたいページを選択します。
2. 画面左端の**編集開始**をクリックし、マスクするのに適切な図形（この場合は矩形）を選択してマウスで消去する部分を範囲選択します。
3. マウスで範囲選択すると、その範囲が消去されるので、**編集終了**をクリックして、処理を確定させます。
4. その他のページについても作業が終わったら、**保存**をクリックしてください。



### <参考>

ページの再読み込みやマスク処理を行う際には都度 OCR 処理が行われ、作成されたテキストデータ及び透明テキスト付き PDF は以前のものと置き換えられます。

## 8. 頁割付

読み込まれたイメージデータに実際の頁の数字を割り付けます。この割付と9.目次入力を行うことで、雑誌内の各コンテンツ(論文)へのアクセスが便利になります。

頁を割り付ける際には、表紙、目次、本文、頁数のついていない頁で割り付け方がそれぞれ異なります。割り付け方は以下のとおりです。

数字の前にアルファベットを付ける場合、同じアルファベットを使用する頁が離れていても通して数字を振ります。

頁種別	数字の前	数字	数字の後
表紙	H	1~	基本的になし。 必要に応じてアルファベットをつける。
目次	M	1~	
本文	なし	冊子に記載されている頁数	
頁数のついていない頁	E	1~	

### <参考>

数字部分はローマ数字 (i, ii, iii...) やイロハニホヘトなどを用いることもできます。

なお、頭文字がHは表紙のページを、Mは目次のページに使用することがシステム上決まっています。

それ以外の文字は、任意で頭文字に付けることができます。

本学では、頁数が印刷されていないページには運用上Eを頭文字に付けています。

- 画面右の頁番号欄に割り振った頁番号を入力していきます。

#### <まとめて割り付ける場合>

連続した頁数を入力したい場合、まず右図のように複数行を選択(左端をドラッグ)し、画面下部の**選択行をチェック**をクリックしてください。次に**頁割付**をクリックすると頁割付ウィンドウが表示されます。開始ページ等を入力し**実行**をクリックすると、連続した頁番号が割付されます。



## <入力方法>

**前方固定部** H、M 等頁の属性を示す文字がある場合は入力します。

**パターン** 割り付け数字の種類を指定します。

**後方固定部** 必要に応じて入力します。

頁割付

前方固定部      パターン      後方固定部      開始頁番号

1,2,3,4...      3

実行      戻る

2. 頁番号の入力が完了したら**保存**をクリックし、頁番号を保存します。

※頁番号を変更した場合、変更した内容は**保存**ボタンで都度保存することができます。  
メインメニューに戻るには**終了**ボタンをクリックしてください。

電子化処理番号: 3999991      作業名: iShin

TITLE: NAZET/ステータ: 電子化確認      PUBLISHDATE: 奈良先端科学技術大学院大学, 2008

URL: V01 No.1      AUTHOR: 学術情報課      経典数: 73

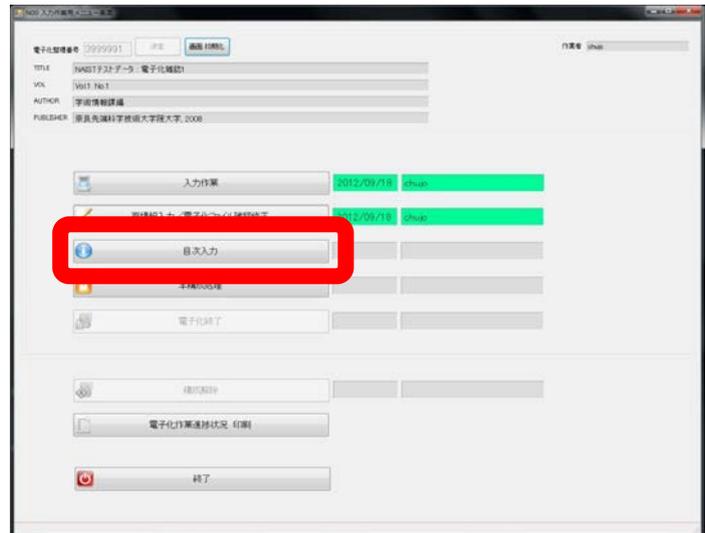
頁番号	ファイル番号	タイプ	加工処理	編集
45	45	0047	TF	
47	46	0048	TF	
48	47	0049	TF	
49	48	0050	TF	
50	49	0051	TF	
51	50	0052	TF	
52	51	0053	TF	
53	52	0054	TF	
54	53	0055	TF	
55	54	0056	TF	
56	55	0057	TF	
57	56	0058	TF	
58	57	0059	TF	
59	58	0060	TF	
60	59	0061	TF	
61	60	0062	TF	
62	61	0063	TF	
63	62	0064	TF	
64	63	0065	TF	
65	64	0066	TF	
66	65	0067	TF	
67	66	0068	TF	
68	67	0069	TF	
69	68	0070	TF	
70	69	0071	TF	
71	70	0072	TF	
72	71	0073	TF	
73	72	0074	TF	

保存      終了

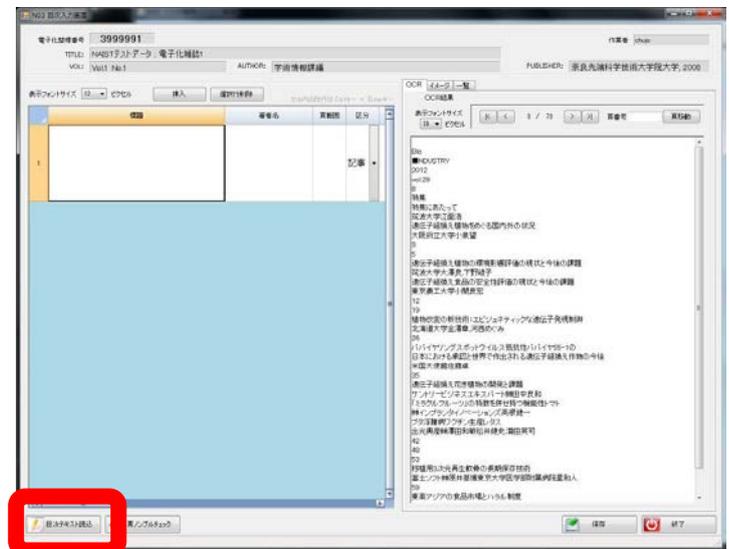
## 9. 目次入力

目次入力は直接システム上で入力する方法と、テキストデータで作成したデータを取り込む方法とがあります。本実習では後者の方法で目次を入力します。

1. **目次入力**をクリックします。



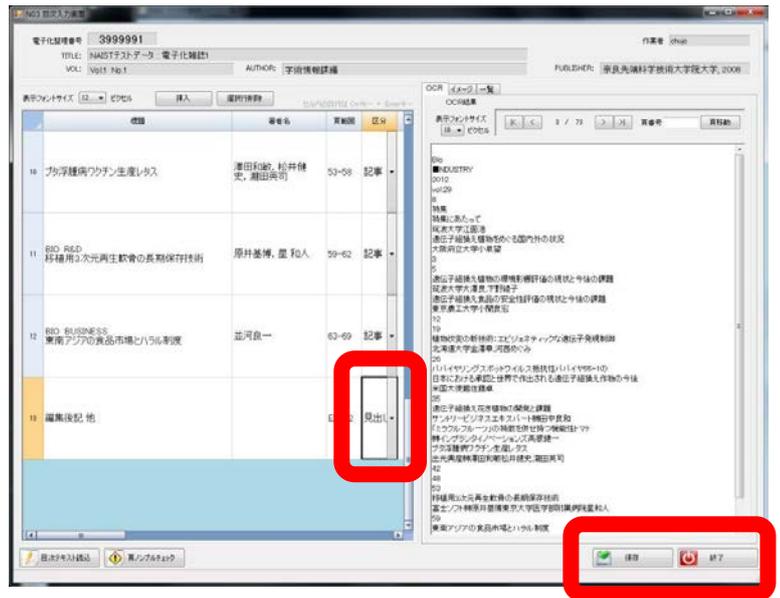
2. 目次入力画面左下の**目次テキスト読込**をクリックし、デスクトップにある目次用テキストファイルの内、該当する巻号のテキストファイルを選択すると目次情報が取り込まれます。



3. 取り込んだ目次情報のチェックを行います。

取り込まれた目次情報の内、論文ではない目次情報は、**区分**欄を見出に変更します。記事区分の目次は、電子図書館 Web 上で論文の詳細情報が見られるようにリンクが設定されます。

4. チェックが済んだら**保存**をクリックし、目次情報の書き込みを完了させた後、**終了**をクリックします。



**<参考>**

目次は直接入力することもできます。

入力の際は OCR 結果から必要な部分をコピーして使用できます。



**頁ノンブルチェック**

目次入力で入力した頁範囲と、頁割付で割り付けられた頁数が対応しているかをチェックすることができます。

**OCR タブ**

OCR 変換で作成されたテキストデータが表示されます。

**イメージタブ**

作成したイメージデータを見ながら、目次入力ができます。

**一覧タブ**

入力した目次情報が一覧表示されます。

〈参考〉目次用テキストデータ

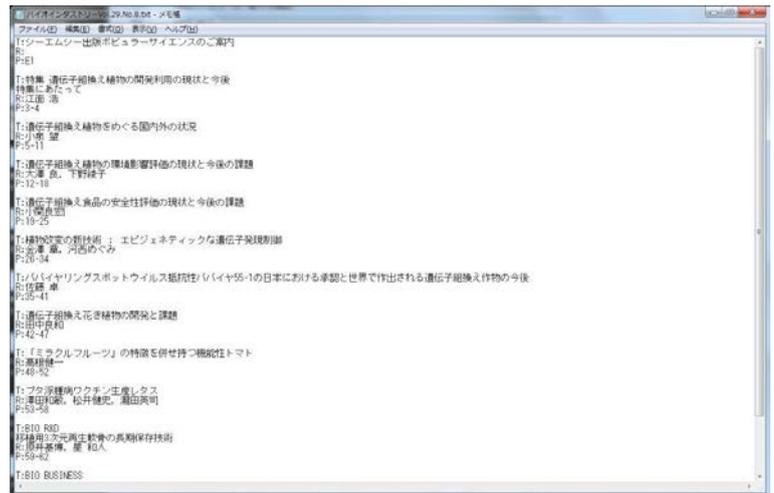
目次情報のテキストデータは

**T**：タイトル

**R**：著者名(省略可)

**P**：ページ範囲

の3項目を1セットとして作成します。



The screenshot shows a text editor window with a table of contents. The text is as follows:

T:「スーパーエムシー」出版でバイオサイエンスのこころ	R:	P:5-11
T:「特産」遺伝子組換え植物の開発利用の現状と今後の発展にあたって	R:江部 浩	P:3-4
T:「遺伝子組換え植物をめぐる国内外の状況」	R:川野 雄	P:5-11
T:「遺伝子組換え植物の環境影響評価の現状と今後の課題」	R:大塚 直, 下野綾子	P:12-18
T:「遺伝子組換え食品の安全性評価の現状と今後の課題」	R:川野雄	P:19-25
T:「植物遺伝資源の創作物」：エビジェネティックな遺伝子発現制御	R:佐藤 暁, 河野ゆづり	P:26-34
T:「リミキアリンタスボトウイルス感染性バリエーションの日本における承認と世界で作出される遺伝子組換え作物の今後」	R:佐藤 暁	P:35-41
T:「遺伝子組換え花き植物の開発と課題」	R:田中良和	P:42-47
T:「『ミラクルフルーツ』の特徴を併せ持つ糖耐性トマト」	R:高橋 健一	P:48-52
T:「ブタ受精卵クワン生産シタス」	R:藤田和敏, 松井健史, 瀧田英明	P:53-58
T:「BIO R&D」	R:長瀬 隆	P:59-62
T:「BIO BUSINESS」	R:	P:

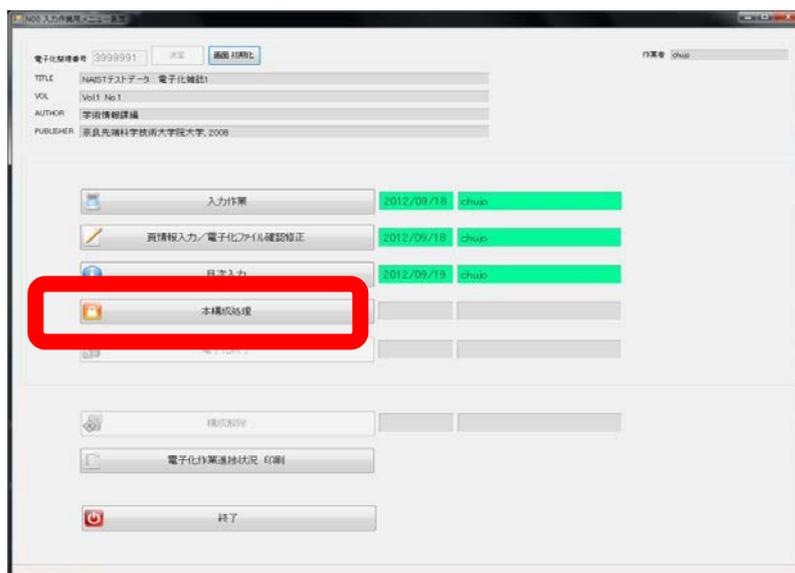
## 10. 本構成処理

※本実習ではこの処理は行いません。

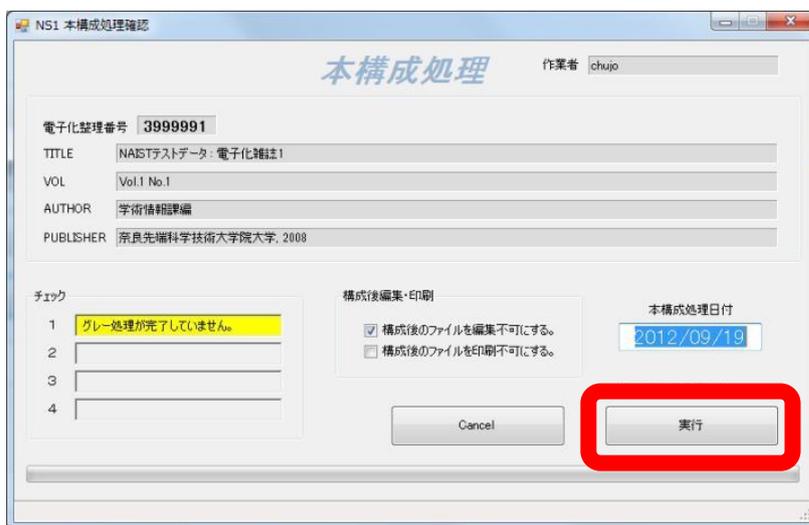
この処理により、頁割付で作成した頁数の情報と目次情報により誌面のイメージデータが論文単位に、ひと塊の透明テキスト付き PDF ファイルにまとめられます。

その後、夜間に行われるバッチ処理によって図書館システムに登録されることで OPAC から検索、利用できるようになります。

1. **本構成処理**をクリックします。



2. 本構成処理確認ウィンドウが表示されますので、**実行**をクリックすると本構成処理が行われます。



## II. WEB 上での確認

本構成処理及び夜間バッチ処理によって正常に図書館システムに登録されたかを確認します。

本実習ではみなさんが先ほど作成したデータの確認はできませんが、これらの雑誌は過去に電子化されているものですので、そちらのデータを確認していただきます。

1. WEB ブラウザを立ち上げ、本学電子図書館ホームページ (<http://library.naist.jp/>) にアクセスし、**電子化雑誌** をクリックします。

※「naist lib」で検索しても出てきます



2. 一覧から先ほど電子化作業していただいた雑誌名を探し、クリックすると以下のページが開きます。

最新号から順に並んでいますので、電子化した巻号の目次までスクロールしてアイコンをクリックすると、イメージデータから作成した PDF が閲覧できます。

WEB 上で確認して問題が見つかったものについては構成解除処理を行い、先ほどの【 10. 本構成処理 】を解除し、データを修正した上で再度本構成処理を行います。



下記のアイコンをクリックすると PDF ファイルが開きます。



誰でも閲覧することができます。



本学構成員のみ閲覧することができます。

PDF 閲覧  
アイコン

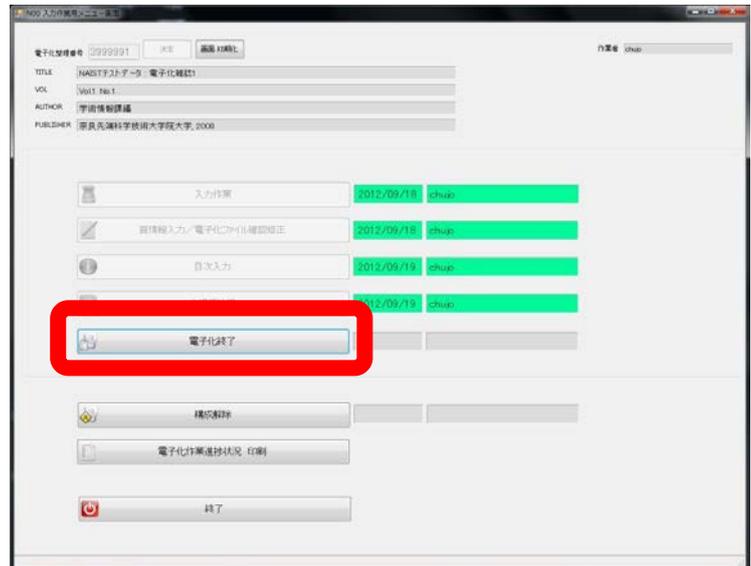


## 12. 電子化終了

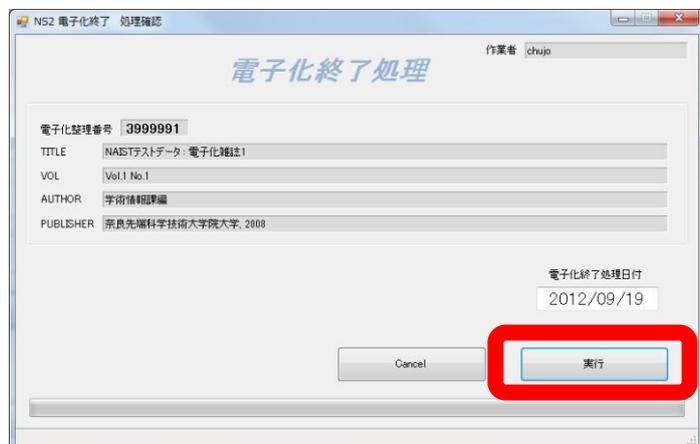
※本実習ではこの処理は行いません。

Web 上で確認し、問題がなければ、最後に電子化終了処理を行います。

1. **電子化終了**をクリックします。



2. **実行**をクリックすると電子化終了処理が行われます。



これで冊子電子化実習は終了です。

お疲れ様でした。